

講演会のご案内



「岐阜県美術館の コレクションについて」

土屋禮一講演会 in 岐阜県美術館

令和5年6月10日(土)
14:00-15:30



土屋禮一《牡丹図》1980年
紙本着色 岐阜県美術館蔵

講師	土屋禮一氏（日展副理事長、金沢美術工芸大学名誉教授）
演題	「岐阜県美術館のコレクションについて」
会場	岐阜県美術館 講堂（岐阜市宇佐4-1-22）
日時	令和5年6月10日（土） 14:00～15:30（予定）
主催	岐阜県美術館
定員	先着100名（当日13:30より受付） 聴講無料

本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館 広報担当：後藤正行
担当学芸員：青山訓子

〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22

TEL 058-271-1314 FAX 058-271-1315

美術館 Web サイト：https://kenbi.pref.gifu.lg.jp E-mail: kouhougifukenbi@govt.pref.gifu.jp

土屋禮一氏と岐阜県美術館とのかかわり

昭和62年(1987)に《隠岐》(1980年作)を土屋氏から寄贈され、以後も多数の作品を寄贈されている。また平成11年(1999)4月、岐阜県美術館で「土屋禮一展 大地から空へ—瑞龍寺本堂障壁画を中心に—」を開催している。

美術館では土屋氏の作品を《牡丹図》を含む32作品および寄託3作品 計35作品を所蔵している。

土屋禮一略歴

※黄色マーカー印の作品は岐阜県美術館所蔵

1946年(昭和 21)	2月28日、日本画家の土屋輝雄の長男として、岐阜県養老郡養老町高田に生まれる。
1964年(昭和 39)	岐阜県立大垣南高等学校卒業。
1967年(昭和 42)	武蔵野美術大学卒業。第10回新日展に《畑》が初入選。加藤東一に師事。
1969年(昭和 44)	改組第1回日展で《水たまり》が特選・白寿賞を受賞。
1976年(昭和 51)	第8回日展で《暮れて行く》が特選となる。
1985年(昭和 60)	第17回日展で《隠岐》が日展会員賞を受賞。
1988年(昭和 63)	日展評議員となる。
1990年(平成 2)	MOA 岡田茂吉賞優秀賞を受賞。
1996年(平成 8)	金沢美術工芸大学教授となる(～2011年)。11月、「土屋礼一展 ふるさとへの道」(大垣市サイトピアセンサーアートギャラリー)開催。
1998年(平成 10)	12月、瑞龍寺(岐阜市)の本堂障壁画を完成させる。これを機に署名を「礼一」から戸籍記載の本名「禮一」に改める。
1999年(平成 11)	4月、岐阜県美術館において「土屋禮一展 大地から空へ—瑞龍寺本堂障壁画を中心に—」開催。
2005年(平成 17)	第37回日展で《椿樹》が文部科学大臣賞を受賞。
2006年(平成 18)	武蔵野美術大学客員教授となる(～2008年)。
2007年(平成 19)	第38回日展出品作《視》(2006年作)により日本芸術院賞を受賞。日展理事となる。
2009年(平成 21)	日本芸術院会員となる。
2010年(平成 22)	日展常務理事となる。
2011年(平成 23)	6月、「なつかしさの窓から 土屋禮一展」(岐阜市、加藤栄三・東一記念美術館)開催。
2012年(平成 24)	4月、「土屋禮一展 なつかしさを求めて」(大垣市サイトピアセンターアートギャラリー)開催。
2013年(平成 25)	日展副理事長となる。
2019年(令和元)	即位の礼「大饗の儀」に用いられる大嘗会屏風のうち、主基地方風俗歌屏風(京都府)を揮毫。悠紀地方(栃木県)は田淵俊夫が担当。

■展覧会及び関連プログラムの日時については、延期・中止する場合がございます。

詳細は岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。

(<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>)

岐阜県美術館

検索